

訴訟派など水俣

市の態度を打診

水俣病患者家庭の訴訟派（渡辺栄蔵代表）と新認定患者家族らは二日、水俣市役所を訪れ、さきに申し入れた年末の生活資金十万円の貸し付け問題について聞いた。この日は浮池市長が不在で岡田公室長が応対したが「前向きで努力している」との浮池市長からの連絡を伝えた。再度四日に市長と患者で話し合う。